

大阪市中教研会報

No. 142

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 松井 信次
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大阪市立上町中学校
TEL 06-6762-6556

令和5年度 研究テーマ

「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成」

～ ウェルビーイング・探究学習・総合的読解力 ～



「総合的読解力育成カリキュラム」を通して 資質・能力の育成を

大阪市教育センター
所長 水口 裕輝

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成 ～ウェルビーイング・探究学習・総合的読解力～」のテーマのもと、教育の今日的課題を踏まえた研究活動を推進され、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

本年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられ、3年間の長きに渡り様々な制約を課されてきた教育活動も、従前の内容にこの間で得た知見を加え、新たなフェーズに入ろうとしております。校長先生をはじめ教職員のみなさまには、未知なる脅威に対しても屈することなく、生徒の学びを保障するため、大変なご尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、今年3月、中央教育審議会より、国の「次期教育振興基本計画」に向けた答申が出されました。そこでは、「教育こそが社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展に向けて極めて重要な役割を有している」とされ、そのコンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられました。また、その基本方針の1つに定められた「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」では、個人と社会のウェルビーイングを実現していくために、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成が必要であり、特に、発達段階に応じて文理横断的・探究的な学習を推進することや、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が不可欠であるとも述べられています。

そのような中、「大阪市教育振興基本計画」の「誰一人取り残さない学力の向上」に向けた施策の1つとして、現在「総合的読解力育成カリキュラム」を開発しています。大阪市立中学校教育研究会よりご推薦いただいた先生方と協議を重ねるとともに、モデル校での試行実施を通してさらなる改善を図り、次年度からの運用に向けて最終調整の段階に入っています。

この「総合的読解力育成カリキュラム」は、「情報を読み取る」「考えを形成する」「考えを交流する」「考えを表現する」という言語活動の4要素を往還しながら学習を進めることにより、読解力を中心とした思考力・判断力・表現力等の育成をめざしています。本カリキュラムでの学習と、各教科等での主体的・対話的で深い学びの視点からの言語活動とを有機的に結びつけることにより、学習指導要領に示される資質・能力の育成の促進が期待できます。

さらに、令和6年度からは大阪市教育センターが、大阪教育大学天王寺キャンパス内に移転し、「大阪市総合教育センター」として生まれ変わります。「新センター」では、これまでの研究・研修をさらに充実させるべく、多様な大学、研究機関、企業等と連携し学校のエデュケーション課題の解決につなげるための調査研究を進めるとともに、キャリアステージに対応した有用性の高い研修を実施して参ります。また、多様な人材が集い、交流できる場の設定などを通じて、今日的な教育課題の解決を図るための様々な支援を講じてまいりますので、学校や教員を支える総合バックアップセンターとして、是非ご活用いただければと存じます。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、確かな学力を身に付け、よりよい未来の創り手となる子どもたちの育成をお願いいたします。



研究活動のさらなる深化・充実 ～ウェルビーイングの向上～

大阪市内立中学校教育研究会

会長 松井 信次（上町中学校）

大阪市内立中学校教育研究会は創立76年目となります。この間、諸先輩方が苦勞を重ね各時代の課題解決に立ち向かい、自主的、創造的な研究活動や教育実践を根気強く継続し偉大な業績を残されてきました。その伝統を途切れさせることなく継承し今日的な新たな課題を解決し、さらに発展させなければならないという責任感・使命感を強く持って、今年度の各事業の推進に尽力する覚悟です。

そのためには、評議員の各教科領域の部長先生や各ブロックの委員長、各専門委員の先生方はもとより会員の皆様のご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

さらに教育委員会、教育センター、校長会、教育に携わる関連団体との協調・連携を深め、より一層、研究活動を推進していきたいと思っています。

今年度も、各校では、学習指導要領に基づく教育課程・指導計画の編成、評価の改善にも取り組まれていることと存じます。

この間、本市の教育振興基本計画のもと、学校のグランドデザインを基盤とした「カリキュラム・マネジメント」をさらに充実させるとともに、「子どもたちの今」を丁寧に見据えた「個別最適化学習」や「子どもたちの未来」に責任のある教育として「探究学習」・「総合的読解力」の深化・充実に努めています。

今後、心豊かな未来社会や個人が協調的幸福感を高めるためには「ウェルビーイング」を意識し向上させる必要があります。

今年度、本研究会では「学校のグランドデザイン」

を基盤とする「カリキュラム・マネジメント」を通して、『持続可能な未来社会の創り手となるための資質・能力の育成』を研究テーマとし、その実現に向けてのキーワードを「ウェルビーイング」・「探究学習」・「総合的読解力」とし事業を推進してまいります。

つぎに、感染症の影響で中止や縮小を余儀なくされてきた、ブロック研究発表会や全市研究発表会のより一層の充実をはかる必要もあります。特に4ブロック化に伴い多くの課題もあるかと思えます。その中で各ブロック委員長の先生方のリードのもと、研究発表の形態や公開授業の工夫など、会員の先生方の期待に少しでもこたえ、魅力ある研究組織になるように鋭意努力されているところです。なお一層の会員の皆様のご理解とご協力、日々の教育実践における研鑽をお願いいたします。

各研究部の深化・充実に向け準備されている活動の予算面等でもできるかぎりご支援させていただければと思います。

さらに、各学校現場で日々直面している学力・体力の向上、不登校対策・働き方改革など多くの課題の克服も必要かと思えます。会員の先生方、ぜひとも本研究会に参加して、これまで本研究会が受け継いできた刊行物を役立て、互いの資質や指導力の向上に努めるとともに教育に携わる喜びや達成感を共に分かち合い、子どもたちとともに「ウェルビーイング」の向上に努めようではありませんか。

今後ともより一層のご理解とご協力、そしてご鞭撻を心よりお願いいたします。

新部長のあいさつ

保健体育部

子どもの運動に対する関心・意欲を高めることにより体力の向上を図るとともに、
将来に夢や希望をもって学習に取り組める生徒を育成する保健体育の授業づくり

— ダンス授業の研究 —

阿久津 弘 治（今津中学校）

コロナ禍における制限が解除されましたが、ここ3年間に於ける子どもの運動する機会の減少、感染症予防のためのマスク着用による運動制限などの影響により、体力向上に向けた課題が顕在化しています。

今後の保健体育の授業を通して、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに

健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる指導方法を工夫する必要があります。

今年度は、ダンス授業を通して、生徒の体力向上をめざすとともに、保健教育科教員の指導力向上を図る研究活動の場となるよう取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

道 徳 部

「多角的・多面的な視点で考え、議論する道德教育の創造」

ーグループワークを取り入れ言語力を育てる道德科授業づくりー

神 田 敏 生 (夕陽丘中学校)

「特別の教科 道德」が教科化されてから 5 年目を迎えました。この間、道德部においては「指導要点集」や「道德科」授業づくりハンドブックを作成し、より多くの先生方が道德授業の実践に取り組みやすい環境整備に努めて参りました。

そして、道德部では今年度、昨年度からの「グループワークを取り入れた授業づくり」の更なる深化充実に努めて行きたいと考えています。グループワークを効果的に取り入れることで、生徒たち一人一人の想像力を膨らませ、言語力を高めながら、登場人物の気持

ちに寄り添うことをねらいとした授業づくりを目指しています。

更に今年度、文部科学省「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」における研究校・拠点校の 5 校は、校区内の小学校と合同研修会や相互参観等を実施いたします。道德教育を軸とした真の小中連携に取り組み、自立した人間として、他者と共によりよく生きようとする生徒を一人でも多く育てることに繋がればと考えています。今後とも道德部の活動にご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

生活指導部

『生徒指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する』

平 尾 仁 志 (美津島中学校)

昨年度改訂された『生徒指導提要』では、生徒指導の構造を、時間軸としての 2 軸と課題対応の種類の 3 類 4 層からなる重層の支援構造として示しています。

さらに、教職員同士（教員・事務職員・SC・SSW 等も含む）はもとより、多職種の専門家や地域の人々が連携・協働してチームとして教育活動を展開することが求められています。

各校の生徒主事の先生方が、この「チーム学校」の

中心として活動していけるように生活指導部ではサポートをしてみたいと思います。また、各校での「リアクティブ（即応性）」な指導の情報共有だけでなく先行的・予防的である「プリアクティブ（積極的）」な指導についても情報共有を図り、有意義な研究活動を進めてまいります。引き続きご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

特別支援教育部

『子どもたち一人一人が、共に学びに向かい生きる力を育む教育をめざして』

鹿 嶽 昌 彦 (弘済中学校)

近年の小中学校における特別支援教育を必要とする児童生徒の増加や、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の割合の増加などを踏まえ、障がいのあるなしにかかわらず、可能な限り同じ場で共に学ぶための環境整備やインクルーシブ教育の推進に向けて一層の充実に図ることが求められています。そのため、支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、その上で適切な指導を行う一層の支援体制の確

立や児童生徒が慣れた環境で指導を受けられる自校通級の充実、特別支援学級担任や通級指導教室を担当する教員の専門性の向上などが求められています。特別支援教育部では、このような喫緊の課題に対応できる教員の資質向上をめざし、調査・研究、各種研修会、実践事例研究発表会などを行ってまいりますので、積極的なご参加をお待ちしています。

本部だより

令和 5 年度 大阪市立中学校教育研究会全体会

5月17日(水) 大阪市教育センター 2階講堂で実施しました。

研究主題

「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成」

～ ウェルビーイング・探究学習・総合的読解力 ～

ブロック研究発表会 基準日 1・2ブロック 8月31日(木)
3・4ブロック 8月30日(水)
全 市 研 究 発 表 会 10月11日(水) 開催

《事業の種類》

- ① 学校のグランドデザインを基盤としカリキュラム・マネジメントの推進
- ② 研究部・ブロック委員会の研究活動の深化・充実
- ③ 全市研究発表会の推進と研究・研修活動の充実
- ④ 「中教研会報」・「研究の歩み」の内容の充実、研究活動の動向や成果の伝達
- ⑤ 教育委員会・教育センター・校長会・小学校教育研究会等、関係団体との連携

《当面の課題》

- ① 学習指導要領に基づく教育課程の編成と基礎学力の充実
- ② 総合的読解力育成（「小中学生からのリベラル・アーツ教育」）についての研究
- ③ ウェルビーイング、個別最適化学習・探究学習についての調査・研究
- ④ 資質・能力の向上を促す、指導・評価方法の工夫・改善についての研究
- ⑤ I C Tを効果的に活用した教育実践の研究
- ⑥ いじめ・不登校・問題行動の研究
- ⑦ 各研究部・各ブロック・各学校における研究体制の整備
- ⑧ 小中が連携、一貫した教育についての研究
- ⑨ 課題に応じた研究部組織の改編・新設の検討
- ⑩ 各種研修・研究会への参加を通しての教職員の相互研鑽・職能開発
- ⑪ その他教育上の諸問題の研究

評議員会報告

第1回 5月17日(水) 14時～

於：大阪市教育センター 8階研修室 5

- (1) 令和4年度 事業報告
- (2) 令和4年度 会計決算報告
令和4年度 会計監査報告
- (3) 令和5年度 事業計画並びに予算案 研究主題
- (4) 会則改定について
- (5) 連絡事項
 - ① 役員選出について
 - ② 専門委員会での協議事項
 - ③ 今後の評議員会の日程について
 - ④ 会計関係について
 - ⑤ 会報、研究の歩みについて

第2回 6月7日(水) 16時～

於：大阪市教育センター 8階研修室 5

- (1) 令和5年度 研究活動について
 - ・各ブロックの研究について
 - ・全市研究発表会について
 - ・中教研会報・研究収録「研究の歩み」の発行について
 - ・研修会について
- (2) 総合的読解力特別研究部について
- (3) そ の 他
 - ① 令和5年度 役員・専門委員一覧表について
 - ② 部門別・ブロック別 研究主題・事業計画について
 - ③ 令和5年度 全国・近畿大会予定表について
 - ④ 連絡事項
 - ・教育センター直接執行分について
 - ・会費の徴収・納入事務について
 - ・ホームページの更新について

令和 5 年度 部門別研究主題

No.	部 門	研 究 主 題
1	国 語	「『生きる力』としての国語力の育成」 －自分の思いや考えを深める言語活動の充実－
2	社 会	「一人ひとりの未来につながる社会科の創造」 ～問い・探究、そして参画へ～
3	数 学	「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」
4	理 科	「理科の見方・考え方を働かせて、未来を創造する資質・能力を育む理科教育」
5	音 楽	「未来を切り拓く、豊かな感性を育む音楽教育の創造」 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
6	美 術	「造形的な見方・考え方を働かせるための学習をめざす」 ～美術が果たす役割を実感させるために～
7	保 健 体 育	「子どもの運動に対する関心・意欲を高めることにより体力の向上を図るとともに、将来に夢や希望をもって学習に取り組める生徒を育成する保健体育の授業づくり」 －ダンス授業の研究－
8	技術・家庭	「いのち輝く未来社会を実現（創造）する技術・家庭科教育」 ～深い学びへと導く、見方・考え方を働かせた実践～
9	英 語	「4 技能 5 領域の総合的な能力向上」 ～ 2025 大阪万博でコミュニケーションが取れる生徒の育成をめざして～
10	道 徳	「多角的・多面的な視点で考え、議論する道徳教育の創造」 －グループワークを取り入れ言語力を育てる道徳科授業づくり－
11	特 別 活 動	「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」
12	生 活 指 導	「生徒指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」
13	特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」
14	保 健 養 護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」
15	情 報 技 術	「カリキュラム・マネジメントの充実をめざして」 ～新学習指導要領を見すえ、社会に開かれた教育課程の確立～
16	教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』をはぐくむ教育メディアの研究」 －学校図書館、放送・視聴覚教育を通して－

令和 5 年度 ブロック別研究主題・発表会日程

ブロック	研 究 主 題	発表会日程
1 ブロック	「豊かな心の醸成と社会の変化や課題に対応できる資質・能力の育成」 －「新たな学び」の実践と交流－	8 月 31 日 (木) 基準日
2 ブロック	「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造」 －「つながり」を生かした学びの場を通して－	8 月 31 日 (木) 基準日
3 ブロック	「豊かな心の醸成と持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成」 ～新しい未来の姿を構想した実践交流～	8 月 30 日 (水) 基準日
4 ブロック	「見方・考え方を働かせ、資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く教育の創造」	8 月 30 日 (水) 基準日

令和 5 年度 役員・評議員

令和 5 年度、役員・評議員が下記のとおり決まりました。（敬称 略）

【大阪市教育委員会】

初等・中学校教育担当	総括指導主事	竹山裕樹
大阪市教育センター	指導主事	田邊宜雅

【本部役員】

会長	松井信次（上町）
副会長	上田健二（友渕）
同	大政和彦（東淀）
同	松田光平（豊崎）
書記	杉山邦彦（大正中央）
会計	青木泰侍（大桐）
会計監査	高橋章二（天王寺）
同	小西絵美（友渕）

【本部役割分担一覧】

● 全市研究発表会、 ブロック研究発表会の調整 等	（上田）
● 企画立案、研究の歩み、会報の編集、 HP担当 等	（大政）
● 研修計画、教育課程（言語活動）、 小中一貫教育担当 等	（松田）
● 名簿作成、議事録作成、 案内状発送、報告書作成 等	（杉山）
● 会計、予算、事業報告書作成、 決算報告書作成 等	（青木）
● 会計監査、会場準備、資料配布 等	（高橋・小西）

【部長】

1	国語	赤坂寛臣（今市）
2	社会	小野寺健（新豊崎）
3	数学	中西啓（佃）
4	理科	谷塚高雅（加美）
5	音楽	有田伸一朗（大淀）
6	美術	石川文子（東陽）
7	保健体育	阿久津弘治（今津）
8	技術・家庭	村上美津子（新東淀）
9	英語	松村隆（我孫子南）
10	道徳	神田敏生（夕陽丘）
11	特別活動	進藤文代（白鷺）
12	生活指導	平尾仁志（美津島）
13	特別支援教育	鹿嶽昌彦（弘済）
14	保健養護	河原亜紀（加美南）
15	情報技術	近藤正宏（本庄）
16	教育メディア	田村敬子（相生）

【ブロック委員長・副委員長】

第1ブロック委員長	田野原千佳（西淀）
第1ブロック副委員長	井寄芳春（咲くやこの花）
第2ブロック委員長	中山寿男（大宮）
第2ブロック副委員長	飯森林（蒲生）
第3ブロック委員長	藤本哲（南港南）
第3ブロック副委員長	莚平雅子（東我孫子）
第4ブロック委員長	南義徳（長吉西）
第4ブロック副委員長	今垣清彦（田島）

令和 5 年度 教育研究会予算

（令和5年7月3日 現在）

1. 歳入

（単位：円）

2. 歳出

（単位：円）

項目	令和5年度予算額
会費	2,000,000（見込み）
補助金	※200,000
繰越金	2,962,199
預金利息	0
合計	5,162,199

項目	令和5年度予算額
本部事業費	2,893,632
研究部事業費	1,788,567
ブロック事業費	480,000
合計	5,162,199

※日本教育公務員弘済会研究助成金